

# 心療内科とは!?

Q1: 他で「心身症」「自律神経失調症」と言われ「心療内科」に行くよう勧められました。「心療内科」とはどのような科なのか。

A1: 病気の起る方々その経過、心理的社会的因子が関係しており、その診断と治療にも心理的社会的因子に対する配慮が特に必要な病気。一口で言うと、病気の起り方や治療に精神的なものを重要な因子として考えなければならない病気を扱う科ということになります。

Q2: 具体的にどのような症状があるのですか。またどんな病気があるのですか。  
A2: わかりやすく言えば、精神科と内科で扱う中間にあたる病気を考えます。また、主な症状を挙げてみます。

- 1 最近元気がなく、無気力で落ち込んでいる。時にイライラして怒りっぽい。出社拒否、登校拒否が続く。
- 2 安静時、会議中、運転中、睡眠中など急に不安が襲って、息切れ、呼吸困難、過換気、胸部締めつけ、しびれなど。
- 3 顔や上半身が急に熱く、熱くなり、頭痛、発汗がある。逆下肢や腰から下は冷たい。
- 4 ダイエット後脂肪が燃え、食べるとすぐ吐く。あるいは拒食、過食など。
- 5 C.T, M.R.I. 検査ではOKなのに、頭痛、嘔気、肩、首の痛みをが向に治らない。
- 6 目の周りのけいれん、歯や口の周囲の異常感覚、味覚異常。

Q4: ストレスがそれぞれの病気の原因として重要であると聞いたのですが、実際にはどのような場合があるのですか。  
A4: ...米られる患者さんのうち、男性の場合は、現在の不況・不景気もあり、仕事上でのストレスが関与している場合が目立ちます。意にそわな昇進、配置転換、転勤、転職、失業、上司や同僚との人間関係、転居、単身赴任、また事業での失敗などが挙げられます。

女性では、異性の友人・恋人との関係、主婦では、主人の仲がうまくいかない場合などが多く見られます。

次に、主な病気について表にまとめてみました。最近では、児童のいじめや不登校、若い女性の拒食症、過食症などの摂食障害の方の相談も増えます。

## 「心療内科」にかかる病気

神経症、心身症、ノイローゼ、パニック障害、過換気障害、自律神経失調症、更年期障害、うつ状態、仮面うつ病、強迫性障害、アルコール依存症、不眠症、家庭内暴力、不登校、摂食障害など

[表1]

Q3: 内科の病気の中にも「心療内科」の専門医によるアプローチがあれば原因療法として治り易いと感じたのですが。  
A3: ...その通りです。表に示します。

## 心療内科で扱う主な内科疾病

- 循環器疾患
- 心臓神経症
- 呼吸器疾患
- 気管支喘息
- 神経性咳嗽
- 咽喉頭神経症

- 消化器疾患
- 胃・十二指腸潰瘍
- 神経性胃炎
- 過敏性大腸症候群
- 胆道ジスキネジー
- 神経疾患
- チック/まぶたのけいれん
- 偏頭痛/筋収縮性頭痛
- 書痙/癱性斜頸
- ジストニア

- 皮膚科
- 円形脱毛症
- じん麻疹
- 多汗症
- 泌尿器科・婦人科
- インボテツ/夫婦生活上の問題

- 歯科
- 口臭

[表2]



医学博士 山村定光

昭和22年8月生れ熊本高校一熊本大学医学部47年卒。同年、龍大第一内科入局。昭和49年4月から4年間、脳神経疾患研究のため留学。医学博士。昭和55年4月、医療法人陽光会上熊本内科理事・院長就任。日本内科学会専門医、神経内科専門医、日本東洋医学会専門医、日本医師会認定産業医、スポーツ医学専門医、介護支援専門医、前熊本医師会理事。

※主な著書・論文は、「水俣病」(青林舎刊)、「Neurology」(米口雑誌)、「よく効く」(龍日堂)他

## 心の病気の相談を!

ストレスの多い現代社会では、心身の不調についての疑問・不安・悩みが起ることも、実際にこの病院へ行ったらいいのかわからないという声を良く聞きます。そのうち時に強い味方になれるのが「心療内科」です。しかし「心療内科」を専門としている病院は、熊本県下ではまだ数少ないのが現状です。そこで、熊本市上熊本で「心療内科」を専門としている「上熊本内科」の山村定光先生(以下敬称略に「心療内科」と心の病気に)について伺いました。



例えは、長く続く頭痛、嘔気、来院まで、神経性精神的なものと簡単に付けられて、後日、初期の「脳腫瘍」であったということがあります(心の病気に)と思ってしまうことも、精査検査をしてみると怖い病気が潜んでいるかもしれません。

即ち、心療内科の医師は、心療内科の専門医としての見識のみならず、内科全般の専門医、あるいは「神経内科」などの高い専門的知識も同時に併せ持つことが必要になると思います。また、それだけの検査や設備も必要とされることになるわけです。

●「インタビューを終えて」  
先生には「二人の娘さんがおられ、一人は既に医学部在学中で、高校生の二人の方も医師志望です。ちなみに高校も、三人とも先生と同じ熊本高校。11つの間にか自分と同じ道をたづめているんです」と笑う先生。そんな先生の夢は、新しい医学を学んだ二人の娘さんと共に、新しい医療を語りあつたそうです。

Q5: 実際の治療法について教えてください。  
A5: ...まず第に患者さんの訴えを良く聞き、何か重大な病気が隠されていないか、聞いて診察してあげることです。

Q6: 最後に、生活上の心構えなどがあれば教えてください。  
A6: ...何か精神的なストレス(心理的シヨク)などを受けた時「家庭が悪い、周囲の人が、学校の競争が、時代が悪い」と二方向的に思い込むのではなく、まず信頼できる専門医に悩みを打ち明けてみよ。自分自身の問題点や心構え等について専門的な修正(カウンセリング)治療を施してもらおう。このことにより、長く悩んだ症状が劇的になくなるといことがよくあるものです。

また、スポーツや旅行をしたり、音楽、絵画など趣味の中に生きる喜びを見い出したり、好きなオケやボランティア活動などで語り合う友人を持ち、交友の輪を広げていく。いつもゆつたりとした気持ちで生活にゆとりを持つことをお勧めします。



医療法人 陽光会

## 心療内科 上熊本内科

神経内科 (併設) 上熊本内科居宅介護支援事業所「ひかり」

〒860-0079 熊本市上熊本1-3-4 (県立体育館横)  
TEL 096-325-1331 (代) FAX 096-325-1398  
診療時間 9時~18時30分(月~金) 9時~18時(土)